

## 第2学年 「総合的な学習の時間」指導案

### 1. 単元名 「 職場体験学習を通して働くことの意義と自己の生き方について考えよう 」

### 2. こんな生徒だから

- 本学年の生徒たちは、1学年時、それぞれ興味のある職業の調査をした。その後、実際に働いている人から講話を聞いた。「働くこと」を知ることの意欲は高い。【主体的・創造的な態度】
- 生徒たちは、これまでの学習で、自分の課題に沿って調査活動を行ってきた。また、身近な人へのインタビューなどの対話を行い、協同して問題解決にあたった。しかし、生徒同士が交流をして共通点をまとめていくなどの活動は十分ではない。【問題解決にあたっての学び方】
- 生徒たちは、1学年時、様々な職業調べや実際に働いている社会人から講話を聞き、職業について考えてきた。また「将来の夢」というテーマで将来の働くことについて一人一人が考えた。しかし、働くことのやりがいや大事なことについてなどの具体性はない。【自己の生き方への自覚】

### 3. こんな教材で

- ① 本質性  
「働くこと」を考えることで自分の将来や自分の生き方を考える。
- ② 課題性  
友達や働く身近な人との協同的な活動の中で、対話や体験活動を通して、有用感が得られると考えられる。
- ③ 発展性  
具体的な「自分の生き方や働き方」を考えることで、進路選択時に役立つと思われる。

### 4. こんな支援で

- 探求の過程が繰り返される単元構成の工夫
- 働くことについて、「働くことの調査」、「職場体験」、「発表」の活動を3つのサイクルとして、学びを深めることができるようにする。
- 協同的に学ぶ場の工夫
- 友達との交流では、異なる視点や考えの中から、共通点を見つけて整理・分析する場を設けることで、次の課題を設定できるようにする。
- 学ぶことの有用感を見てとれる評価の工夫
- 自己評価カードや相互評価の方法を工夫することで、有用感を感じさせる。

### 4. こんな生徒に

- 職場体験学習を通して、「働くこと」に関心をもち、働く上で大事なことを考え、自分の生き方や課題を追求する。【主体的・創造的な態度】
- 調べたことや考えから共通点を見つけて全体のまとめや課題としたり、友達や身近な人と交流する中で問題を解決したりすることができる。【問題解決にあたっての学び方】
- 体験活動を通して、働くことについて実感をもって自分の考えをもち、自己の生き方について考えることができる。【自己の生き方への自覚】

6. 学習活動計画 (計 3 2 時間)

配時	1 サイクル	学習活動	支援	評価
1 ①	1. 働くこととは何か考える。〈課題の設定〉 課題 1 人は何のために働いているのか考えよう。	2 ① ①	※ これまでの学習を振り返り予想を立てる。 ※ インタビューの計画を立てることで、いつ、誰に聞くかを明確にする。	・自分なりの予想を立てることができる。 ・インタビューの活動
3 ①	2. 自分の考えをまとめ、活動の計画を立てる。 (1) 自分の考えをまとめる。 (2) 活動の計画を立てる。 ・身近に働いている人へのインタビュー	① ②	※ インタビューした内容を全体で共有することで多様な情報を収集する。 ※ 職業の DVD を鑑賞することで、課題を解決するための根拠とする。	計画を立てることができる。 ・インタビュー項目を考えることができる。
2 ①	3. 自分の課題の解決に取り組む。〈情報の収集〉 (1) 計画に基づき、インタビューする。 ・身近な人への聞き取り調査 (2) 働く若者の実際を知る。 ・4つの職業の DVD を鑑賞する	① ②	※ インタビューした内容を全体で共有することで多様な情報を収集する。 ※ 職業の DVD を鑑賞することで、課題を解決するための根拠とする。	・課題 1 に対する自分なりの考えをもつことができる。
2 ① ①	4. 調査報告会をする。〈整理・分析〉〈まとめ・表現〉 (1) 調査報告会をする。 ・自分の調べた内容について、報告し合い、自分の考えに生かす。 (2) 新しい課題について話し合う。 課題 2 職場体験学習を通して、自己の生き方を考えよう。		※ 課題 1 に対する考えをもち、課題 2 を考える上での予想に役立てる。	

2 サイクル

2 ① ①	5. 自分の課題を作る 〈課題の設定〉 (1) 自分やグループの課題、行動の目標を決める。 (2) 課題解決のために、事業所の方へのインタビュー項目を考える。	4 ② ②	※ 職場体験学習の前に、グループの行動目標を設定する。 ※ 実際に体験する事業所についてグループで調べ学習を行い、知識を深める。	・グループで行動目標を立てることができる。 ・調べ学習を行っている。
12 3	6. 自分の課題の解決に取り組む。〈情報の収集〉 (1) 事業所について調べ、グループで紹介し合う。 (2) 職場体験において事業所の方にインタビューをする。 7. 職場体験に取り組む。 8. グループで職場体験学習報告会の準備をする。 〈整理・分析〉	③	※ 発表の準備を行い、グループで働く上で大切なことを交流する。	・発表資料が準備でき、発表をしている。
1 ① 本時	9. コース発表会を行う。〈まとめ・表現〉 (1) 職場体験を通じて分かったことや感想、課題 2 に対する考えをコースで交流する。		※ 自己の生き方をグループで交流する	

3 サイクル

2	10. 学習を振り返り、これからの自己の生き方について話し合う。 〈課題の設定〉	※ 自己の生き方をもとにして、これからの生活での取り組みを考える。	・どう生活に生かすか考えている。
②	(1) 学習の振り返りをする。 (2) これからの自己の生き方を考え、生活に生かす。		

7. 本時 (18 / 20)

平成22年11月 日 ( ) 校時 2年 組教室にて

8. 本時の目標

- 職場体験学習のまとめを発表し話し合うことで、体験で感じたことを再確認し、自己の生き方について共通のまとめや課題をもつことができる。 【自己の生き方への自覚】

9. 本時指導の考え方

これまで生徒たちは「働くこと」について、「調べ学習」や「社会人講話」、「働いている人へのインタビュー」を通して考えた。ここでは、友達と協力して行う調べ学習や身近な人との交流などの協同的な学習を通して、問題解決にあたった。

本時では、「職場体験学習」後の発表の場面において、働く体験を通して働く上で大切なことを交流する。まとめにおいて、共通の課題を導き出し、今後の自己の生き方に生かすことを目標とする。

10. 準備

(教師) 発表資料 前時までの学習を整理した掲示物 学習プリント 掲示物 写真 ビデオ3台  
質問プリント アンケートプリント 説明プリント

11. 展開

配時	学習活動と内容	評価規準	支援
5分	1. 前時までの学習を想起し、 <b>本時学習のめあてを確認</b> する。 グループの発表をもとに、働く上で大切なことをまとめよう		・学習プリント、発表資料配布
20分	2. まとめたことをもとに、「働く上で大切なこと」を発表しあう。 ○ <b>グループごとに発表</b> を行う (質問を含める)。資料として <b>体験場面の写真</b> (発表は、 <b>グループ紹介、仕事内容、感想、大切なこと</b> ) ○ グループごとに発表した「働く上で大切なこと」を <b>内容ごとに整理</b> していく。(その他) ・お客と公平に接する、感謝、お客を大事にする ・体力・気力・集中力、真剣さ、やりぬく ・協力 ・礼儀、笑顔と挨拶	○全体をとおして発表を行い、自分の考えをまとめることができている。 *評価方法は自己評価カードによる。	・発表練習を事前に行う。働く上で大切なことのまとめをしておく。
15分	3. 2で発表したことをもとに、その理由となる体験を <b>話し合い</b> 、内容を深める。		

5分	<p>○ 2で発表した内容は、どんな体験をしたから感じたことかをグループで話し合い、<b>体験の内容を発表</b>しあう。(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店の人と話、バスの試乗、コート整備</li> <li>・本の分別や運ぶ作業、バスの清掃、掃除</li> <li>・店の人と話、社員の仕事ぶり</li> <li>・商品並べやトイレ掃除、お客と話</li> </ul> <p>4. アンケートを紹介する</p> <p>○ 職場の方のアンケートを紹介し、職場の方の願いを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験を受けての感想や活動のようすについてのアンケート</li> </ul> <p>5 自己評価カードを書く。(時間があれば<b>発表</b>をする)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感想を書いたり、自分の取り組みを振り返ったりする。</li> <li>○ 今後、自分はどんなことを学ぶ必要があるか(足りないこと)考える。</li> </ul>		
5分	<p>6 教師の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>学習の振り返り、次時の学習の確認</b></li> </ul>		<p>・プリントを参考に する</p>